

『JSMDレビュー』原稿執筆要項

I 原稿の様式

1. 1ページ目に、論文題名、執筆者、所属、および、200字～400字の要約（アブストラクト）、5個以内のキーワードを記載してください。論文題名、執筆者、所属につきましては、英文表記も必ずお願いします。また、その下に、執筆者（共著の場合には連絡担当の執筆者）の連絡先として、執筆者氏名、住所、メールアドレス、電話番号を記載してください。
2. 本文は、2ページ目の冒頭から記載してください。
3. 印刷される字体やポイント数は印刷業者において調整しますので、本文は、見出しを含めて、10～11ポイントの明朝体を基本にして書いてください。原則として、太字は使わないでください。また、参考文献リストの外国語書籍名、外国語雑誌の名称と、巻数のみイタリック体を使ってください。
4. 章には、1 2 3 … を用い、節は、1.1 1.2 1.3 … 2.1 2.2 …、項は、1.1.1 1.1.2 … もしくは、(1) (2) … を使ってください。また、章、節、項には、必ず見出しを付けてください。そして、章と節の前は1行空けてください。
5. 数式は、右端に (1) (2) … の通し番号を付けてください。
6. 図表は、本文とは別の場所に記載し、本文中にその掲載場所を指定してください。また、図1 図2 …、表1 表2 … という表記を用い、見出しを付けて、図表の上を書いてください。引用した場合は、その出所を図表の下に明記してください。
7. 数学注や付録があれば、本文のすぐ後に置いてください。
8. 注は、参考文献の前にまとめて、1) 2) … と箇条書きにしてください。なお、本文中にも上付の通し番号1) 2) … を付けてください。
9. 本文における句読点は、「。」 「、」 を使ってください。
10. 文中の数字は、基本的にアラビア数字を使いますが、「第一に」「一昨年」などの語句の中では漢数字を使ってください。
11.
 - ・本文中で文献を引用する場合も、APA スタイルに従い、田村 (1996)、Kotler (1996, p.216) というように記してください。
 - ・引用する文献が複数著者による場合には、Aaker and Keller (1990) のように and を使ってください。また、本文中で括弧を使って複数著者の文献を引用する場合には、(Aaker & Keller, 1990) のように & を使用してください。
 - ・日本語の文献で複数著者がいる場合には、鈴木・佐藤 (1990)、(鈴木・佐藤, 1990) のように、中黒 (・) を使ってください。
 - ・著者が 3～5 名の場合には、初出の際には全著者名を書いてください。2 度目以降は、英語文献の場合には、Kotler et al. (2010)、日本語文献の場合には、吉田他 (2010) のように、“et al.”

または「他」を使って記述してください。

- ・著者が 6 名以上の場合には、初出から、“et al.” または「他」を使って記述してください。
12. 参考文献は日本語文献と外国語文献を分けず、著者名（姓）のアルファベット順とし、以下の様式で記載してください。

Christensen, C. M. (1997). *The innovator's dilemma*. Harvard Business School Press. (伊豆原弓 (訳) (2000) イノベーションのジレンマ 翔泳社)

石原武政 (1999). 小売業における業種と業態 流通研究, 2(2), 1-14.

Kotler, P., Keller, K. L., Brady, M., Goodman, M., & Hansen, T. (2016). *Marketing management* (3rd ed.). Person Education Ltd.

Moorman, C., & Day, G. S. (2016). Organizing for marketing excellence. *Journal of Marketing*, 80(6), 6-35.

田村正紀 (1996). マーケティング力 千倉書房

※第1著者が同一で、第2著者が異なるときは、刊行年ではなく、第2著者の姓のアルファベット順にそれらを並べてください。

Kotler, P. (1996).

Kotler, P., Kartajaya, H., & Setiawan, I. (2010).

Kotler, P., & Lee, N. (2006).

※同一著者の、あるいは同一配列の共著の文献がいくつかある場合には、早い刊行年のものから順に並べてください。同一年に刊行された文献がいくつかある、あるいは、本文への引用の際の省略表記が同一となる場合、刊行年のあとに、アルファベット小文字a, b…を付して区別してください。

Asseraf, Y., & Shoham, A. (2016a)

Asseraf, Y., & Shoham, A. (2016b).

13. 採択が決まってから原稿に謝辞を付けていただいても構いません。謝辞を書く際には、番号を付けないで注の最初に追加してください。

II その他

1. 校正は 2 校までとします。なお、校正はPDF ファイルで行います。
2. 原稿料の支払い、および掲載料の徴収はありません。ただし、別刷を希望される場合には、印刷費と送料の実費を執筆者にご負担いただきます。
3. 印刷用原稿を提出する際に、完成稿著作権法に定められた著作権のうちの複製権と公衆送信権についての利用許諾書を提出していただきます。ただし、この利用許諾は、『JSMDレビュー』の刊行の目的に限定されるものであり、著作権は著作者に帰属し、学会は著作者の権利を侵すことがないように留意します。

(2020年11月16日改訂)